

令和7年1月26日(月) 放送大学学園

「知的障害者のための教育コンテンツを活用した学習プログラムの開発」
シンポジウム

講演

知的障害者への学習支援の取り組み について

- ・ 放送大学学園 前・理事 (現・東京理科大学研究戦略官) 内藤 敏也
- ・ 放送大学 特任教授 広瀬 洋子
- ・ 放送大学 制作部長 足立 圭介

放送大学における知的障害者
への学習支援



放送大学イメージキャラクター
まなびー

放送大学コンテンツを活かした知的障害者のための学習プログラムの開発（全体構造）

「学びたい人が、いつでも、どこでも、学べる開かれた大学」
放送大学学園中長期ビジョン2033

「ひとりひとりに最適な学びを放送大学から」
放送大学教学Vision2027

放送大学中期計画（令和4年4月-10年3月）

計画7 社会的包摂の観点から、障害者をはじめとした地域の学びを支える取り組みを検討し、実施する。



目標

遠隔高等教育機関という本学の特性を活かした、
知的障害者のための遠隔教育コンテンツの制作及び学習プログラムの開発

令和5年度

（放送大学学園補助金（特殊要因事業））

- 国内外の大学等において、中等教育段階以降の者を対象に実施されているプログラム等の実施方法・内容の調査
- 知的障害者向けに提供されている遠隔教育コンテンツの制作上の工夫の調査
- 知的障害者が社会で働く際に直面する課題とその対処法に関するコンテンツのデモ版の制作（3パターン、各15分）
4つの観点 ①対人コミュニケーション能力 ②社会生活のルール ③基本的な生活習慣 ④職業能力の育成

「仕事の進め方に不安がある【ドラマ版】」「仕事で注意を受けたとき【ドラマ・イラスト併用版】」
「体調不良が言い出せない・・・【イラスト版】」

令和6年度

（文部科学省研究委託事業：知的障害者のための教育コンテンツを用いた学習プログラムの開発）

放送大学学園 次世代教育研究開発センター

研究開発課題として実施

- デモ版コンテンツの利用実践とそのフィードバックを受けた改善、専門家による校閲
（千葉県内の特別支援学校高等部、千葉県内の福祉事業所、知的障害者の生涯学習支援団体など）
- 知的障害者の生涯学習支援者・団体等のためのデモ版コンテンツ利用マニュアルの整備
- 改善されたコンテンツ及び利用マニュアル（ベータ版）を放送大学のプラットフォームで全国に発信
- 放送大学の既存コンテンツを利用した知的障害者のための教養的な生涯学習コンテンツの制作の検討
- 研究成果を共有するための全国シンポジウムの開催



千葉県（教育委員会、県民プラザ、特別支援学校等）、全国の知的障害者の生涯学習に取り組む機関などとの連携

1983年に「放送大学学園法」に基づき設立。[学生数 **85,930名** (令和5年度第2学期)]
「日本で唯一の放送を行う大学」

◎授業形態は3種類

- ・ **放送授業** + 印刷教材
(テレビ、ラジオ ⇨ BS放送・インターネット配信) [教科書。書店でも販売]
- ・ **オンラインによる授業**
(コンテンツ配信型(オンライン授業)、同時双方向型(ライブweb授業))
- ・ **面接授業**
(全国 57 箇所の「学習センター」等で実施)

◎学位を目指す学生(全科履修生)以外にも、単位ごとに履修する学生(科目履修生、選科履修生 ⇨ 資格を目指す者も...)として在籍可能

◎放送授業とは別に、学生以外の者も対象に、最新の教育研究の成果を発信する「生涯学習支援番組」「オンライン講演会」を制作・放送

◎遠隔教育の技術方法を継続的に研究(放送・制作に関する専門的技術職員が多数在籍)

◎特別支援教育に関する専門科目も開設

小中高教諭免許状所有者で、新たに特別支援学校教諭免許状を取得する者の **28.7%** が放送大学を利用

「学びたい人が、いつでも、どこでも、学べる開かれた大学」

放送大学学園中長期ビジョン2033

学生年齢層	10代 2.6%,	20代 16.0%,	30代 14.9%,	40代 18.9%,
	50代 20.8%,	60代 14.6%,	70歳以上 12.1%	

「ひとりひとりに 最適な学びを 放送大学から」

放送大学 教学Vision2027

修学上の「合理的配慮」希望学生 約 **800** 名 (全学生の約 **1** %)

放送大学中期計画（令和4年4月-10年3月）

計画7 社会的包摂の観点から、**障害者**をはじめとした**地域の学び**を支える取り組みを検討し、実施する。



目標

遠隔高等教育機関という本学の特性を活かした、
知的障害者のための**遠隔教育コンテンツ**の制作
及び**学習プログラムの開発**

令和5年度の取り組み

○国内外の大学等において、中等教育段階以降の者を対象に実施されているプログラム等の実施方法・内容の調査

○知的障害者向けに提供されている遠隔教育コンテンツの制作上の工夫の調査

○知的障害者が社会で働く際に直面する課題とその対処法に関するコンテンツのデモ版の制作
(3パターン、各15分)

※ 4つの観点: ①対人コミュニケーション能力、
②社会生活のルール、③基本的な生活習慣、④職業能力の育成

(放送大学学園補助金(特殊要因事業))

調査先

(国内) 神戸大学、静岡大学、 ゆたかカレッジ
流山高等学園、市川大野高等学園

(海外) 「Think College」(米国 ボストン市)
「マサチューセッツ大学ボストン校」「マサソイト コミュニティカレッジ」「マサチューセッツ芸術カレッジ」

「ハワイ大学 CDS」(米国 ハワイ州)
「リーワード コミュニティ カレッジ」,
「Pacific Rim International Conference on Disability and Diversity」

「ナザレ大学」(韓国 天安市)

意見聴取先

- ・NHKエデュケーション「ストレッチマン」制作関係者
- ・特別支援教育担当教員、学校関係者
- ・動画コンテンツ制作会社

完成したデモ版

- ◎「仕事の進め方に不安がある 【ドラマ版】」
- ◎「仕事で注意を受けたとき
【ドラマ・イラスト 併用版】」
- ◎「体調不良が言い出せない・・・【イラスト版】」

調査・意見聴取からわかったこと

知的障害者に対する高等教育の機会の提供、コンテンツの制作

・国内外とも「体験を伴う学習・活動」「対面での交流・共同学習」などが重視される中、遠隔教育やコンテンツを常時使用している例は少ない

(知的障害者の学習のためのコンテンツの制作と活用を目指す、放送大学の取組については、概ね好意的な評価)

・それぞれの機関ごとに、知的障害者に対して学習支援を行う体制 (教員・指導者、教育コーチ、コーディネーター、チューター、ピアメンター など) を工夫

・知的障害者が専門的内容のコンテンツを、自発的に視聴し、長時間見つけることは難しいのではないか？

⇒ コンテンツ（動画）を制作し、提供する場合、放送大学の学生向けのコンテンツ制作・利用とは、異なる工夫を検討する必要

利用実践した教育コンテンツ（デモ版）

令和5年度作成

放送大学

しょう 障がいのある学生のための
がくせい がくしゅうしえん
学習支援コンテンツ

コンテンツについて

ほうそうだいがく ほうそう じゅぎょう
放送大学では、テレビ、ラジオの放送やインターネットによる授業を
おこな ほんがく とくせい い がっこうそつぎょうご ちてきしやう しや しえんしや
行っている本学の特性を活かし、学校卒業後の知的障がい者やその支援者が
かつよう がくしゅうしえん かいほう すず ばん かんせい
活用できる学習支援コンテンツの開発を進め、そのデモ版が完成しました。

ほん ちてきしやう しや こうとうがっこうまた とくべつしえんがっこう こうとうぶ そつぎょうご
本コンテンツは、知的障がい者の高等学校又は特別支援学校高等部卒業後の
しゃかいせいいかつ おも しょくぎょうせいいかつ じゅうじつ し ちてきしやう きやういく かんけいしや
社会生活、主に、職業生活の充実に資するために、知的障がい教育の関係者
きやうりやく え せいさく こんご あら がくしゅうしえん
の協力を得て、制作したものです。今後、さらに新たな学習支援コンテンツ
を制作し、その活用や学習支援の方法も検討する予定です。

つきましては、15分程度で、3パターンの演出で制作したデモ版ではありま
すが、本コンテンツをご視聴・ご利用いただき、忌憚のないご意見をいた
だければ幸いです。

こんな時ありませんか？

しごと すず かた ふあん
仕事の進め方に不安がある

しごと ちゅうい う
仕事で注意を受けたとき

たいちやうふりやう い だ
体調不良が言い出せない

こんなお悩みに
お答えします！

タイトル	映像内容
仕事の進め方に不安がある ～不安なときは相談しよう～ ドラマ版	ヒナさんは、職場の先輩から 「不良品のチラシがないか確認してから、 チラシを折ってほしい」と頼られました。 しかし、ヒナさんは、どのチラシが 不良品なのか迷ってしまいます。 そのままヒナさんは、誰にも相談せずに 仕事を進めてしまうのですが…。
仕事で注意を受けたとき ドラマ・イラスト併用版	ハルキさんは、職場の先輩から 頼まれた仕事の手順を忘れてしまい、 迷ってしまいました。しかし、先輩に 相談することなく仕事を進めてしまい、 先輩から厳しい注意を受けてしまいます。 イライラしたハルキさんは自分の感情を どうすればいいかわからず…
体調不良が 言い出せない… イラスト版	ハルキさんは、朝からお腹が痛く、 体調が良くありませんでしたが、 我慢して出勤してしまいます。 仕事場についても、お腹が痛いせいで 作業に集中することができません。 そのため先輩から手が止まっていることを 注意されてしまうのですが…。

視聴方法

インターネット環境のあるパソコン
スマートフォン、タブレット端末など

お問い合わせ先

ほうそうだいがく がくぶぶ がくせい
放送大学 学務部 学生課
Tel : 043-298-3406
Mail : barrier-free2@ouj.ac.jp

放送大学コンテンツを活かした知的障害者のための学習プログラムの開発（全体構造）

「学びたい人が、いつでも、どこでも、学べる開かれた大学」
放送大学学園中長期ビジョン2033

「ひとりひとりに最適な学びを放送大学から」
放送大学教学Vision2027

放送大学中期計画（令和4年4月-10年3月）

計画7 社会的包摂の観点から、**障害者**をはじめとした**地域の学びを支える取り組みを検討し、実施する。**



目標

遠隔高等教育機関という本学の特性を活かした、
知的障害者のための**遠隔教育コンテンツの制作及び学習プログラムの開発**

令和5年度

（放送大学学園補助金（特殊要因事業））

- 国内外の大学等において、中等教育段階以降の者を対象に実施されているプログラム等の実施方法・内容の調査
- 知的障害者向けに提供されている遠隔教育コンテンツの制作上の工夫の調査
- 知的障害者が社会で働く際に直面する課題とその対処法に関するコンテンツのデモ版の制作（3パターン、各15分）
4つの観点 ①対人コミュニケーション能力 ②社会生活のルール ③基本的な生活習慣 ④職業能力の育成

「仕事の進め方に不安がある【ドラマ版】」「仕事で注意を受けたとき【ドラマ・イラスト併用版】」
「体調不良が言い出せない・・・【イラスト版】」

令和6年度

（文部科学省研究委託事業：**知的障害者のための教育コンテンツを用いた学習プログラムの開発**）

放送大学学園 次世代教育研究開発センター

研究開発課題として実施

- デモ版コンテンツの利用実践とそのフィードバックを受けた改善、専門家による校閲
（千葉県内の特別支援学校高等部、千葉県内の福祉事業所、知的障害者の生涯学習支援団体など）
- 知的障害者の生涯学習支援者・団体等のためのデモ版コンテンツ利用マニュアルの整備
- 改善されたコンテンツ及び利用マニュアル（ベータ版）を放送大学のプラットフォームで全国に発信
- 放送大学の既存コンテンツを利用した知的障害者のための教養的な生涯学習コンテンツの制作の検討
- 研究成果を共有するための全国シンポジウムの開催



千葉県（教育委員会、県民プラザ、特別支援学校等）、全国の知的障害者の生涯学習に取り組む機関などとの連携

令和6年度の取り組み

(文部科学省研究委託事業)

学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業

(大学・専門学校等における生涯学習機会創出・運営体制のモデル構築)

「知的障害者のための教育コンテンツを用いた学習プログラムの開発」

研究実施組織: 放送大学学園 次世代教育研究開発センター

2024年4月開設。放送大学のこれまでの教育実績を基にしながら、メディアを活用した次世代教育の研究開発を行うとともに、先駆的なコンテンツの企画・制作・評価を行いつつ、内外の研究機関と連携して、新しい遠隔高等教育のあり方を研究開発していく。

○令和5年度に制作した「デモ版コンテンツ」の利用実践とそのフィードバックを受けた改善、専門家による校閲

(千葉県内の特別支援学校高等部、千葉県内の福祉事業所、知的障害者の生涯学習支援団体など)

○知的障害者の生涯学習支援者・団体等のための「デモ版コンテンツ」利用マニュアルの整備

○改善されたコンテンツ及び利用マニュアル（ベータ版）を放送大学のプラットフォームで全国に発信

○放送大学の既存コンテンツを利用した知的障害者のための教養的な生涯学習コンテンツの制作の検討

○研究成果を共有するための全国シンポジウムの開催

文科省研究委託事業の「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」として

研究開発の進捗状況①

○学習コンテンツの利用実践

6月 千葉県立特別支援学校 流山高等学園

- ・ 現場実習の事前授業で使用

7月、9月 さわやかちば 県民プラザ

- ・ さわやか青年教室終了後に視聴

7月 千葉障害者就業支援キャリアセンター

- ・ 「千葉県障害者就業・生活支援センター連絡協議会」において、コンテンツの説明、視聴依頼

10月 千葉県立特別支援学校 市川大野高等学園

- ・ インターンシップ事前学習で使用

11月 さわやかちば 県民プラザ

- ・ 星久喜公民館主催講座終了後に視聴

12月 千葉県立特別支援学校 流山高等学園

- ・ 現場実習終了後の授業で使用

研究開発の進捗状況②

○連携協議会（研究実施者及び利用実践団体で構成）

- 第1回 7月23日 学習コンテンツの利用実践方法について検討
- 第2回 11月21日 利用実践の報告、学習コンテンツの改善について検討

○学習コンテンツの専門家による校閲

- 10月～1月 専門家と研究実施者との意見交換

コンテンツの利用実践と、実践を通じて得られた知見

○「さわやかちば県民プラザ」での利用

- ・主催・共催事業（ヨガ・料理教室、絵葉書作成講座）終了後に、参加者にコンテンツを視聴してもらった。
- ・視聴コンテンツは、内容の汎用性と、イラストの「なじみやすさ」を考慮し、いずれの会も「体調不良が言い出せない・・・」（イラスト版）を使用。
- ・最初に簡単な説明を行った後、モニター又はスクリーンの動画を、15分間、参加者(15～20名)と一緒に視聴する形で実施した。
- ・いずれの会でも参加者は基本的に15分静かに視聴していた。
(話しながら視聴している方、あまり画面を見ていない方、途中で離席した方もいた。)
- ・視聴後のアンケートでは「役に立つ」する回答が多い一方、長さは「長い」「ちょうどよい」と意見が分かれた。

[視聴状況に対する印象《放送大学担当者》]

- ・一度に続けて見るのであれば、15分間は長い印象。説明もややくどい。
- ・比較的障害が重い方は、コンテンツ後半の「事例の振り返り」「解説」の箇所まで、集中してみることは難しそうであった。
- ・視聴中の反応から、コンテンツの説明ナレーションをもう少しゆっくりとしたほうがよい。使用する言葉もわかりやすいものがよい。

※ **特別支援学校職業学科** (流山高等学園、市川大野高等学園)での利用については、**「事例発表 本事業の利用実践団体による発表」**にて紹介

意見交換等を通じて、得られた意見・コメント

「千葉障害者就業支援キャリアセンター」連絡協議会を通じた意見・コメント

※ 参加団体に対してコンテンツの視聴を依頼

《主なコメント》

- ・コンテンツにおける職場の先輩が高圧的な印象を与える。本人だけでなく周囲の者にも問題があるという障害の社会モデルの視点が必要ではないか。
- ・内容がわかりにくい箇所、長く感じられる箇所がある。字幕があった方がよい。
- ・知的障害者にとっては失敗体験よりも、成功体験の方が記憶に結び付きつきやすく、真似をしようとする意欲に繋がるのではないか？
- ・知的障害者の日常的な事柄や、生活支援の視点からの内容がよいのでは？
- ・「支援者」を登場させる方がよい。
- ・高卒後はすぐに働くのは早いという実感もあり、働くことへの喜びや、「自分たちは社会で役に立っているんだ」と思えるような内容を期待したい。

本学の「連携協議会」での意見・コメント

- ・県民プラザと流山学園・市川大野学園では、対象者も使い方も異なっている。コンテンツについては対象者と使い方を考えながら検討する必要がある。
- ・流山学園・市川大野学園で用いたような「スタディガイド」を用意し、コンテンツと一緒に提供することが必要。これに沿って、学習を展開し、問いかけ等を行っていく。
- ・コンテンツは単純明快でテンポよく、字幕・イラストなどで強調するのがよい。
- ・一般教養や社会に対する理解のようなコンテンツの提供も課題である。

今年度の今後の計画

○シンポジウム（「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」として）

テーマ：知的障害者のための教育コンテンツを活用した
学習プログラムのあり方について

開催日：令和7年1月27日(月)

○連携協議会（研究実施者及び利用実践団体で構成）

第3回 1月下旬～2月上旬

事業の総括、課題や次年度以降の実施内容について検討

○教育コンテンツの改善 及び「スタディガイド」の作成

3月までに作成し、放送大学のプラットフォームで全国に発信

○放送大学の既存コンテンツを利用した知的障害者のための教養的な 生涯学習コンテンツの試作 3月までに作成

今後に向けて

「遠隔高等教育機関」たる放送大学として、知的障害者の生涯学習に取り組むべき課題

◎遠隔教育機関として

⇒ 蓄積してきた映像資産とコンテンツ制作のノウハウを用いて、コンテンツの在り方を追求

⇒ 利用・検証を通じて、遠隔教育・コンテンツを用いて行う、効果的な学習方法・環境を検討

◎高等教育機関として

⇒ 専門的学術研究に基づく「アカデミック・ベース」の学習内容を、知的障害者に届けていく

放送大学は、知的障害者に生涯にわたって「学ぶ楽しみ、喜び」を届けるチャレンジを続けます